

## インターンシップ・レポート

平成 30 年 3 月 4 日提出

学籍番号	C1161999	氏名	堀田貴大
実習企業・機関	花巻市役所		
実習期間	平成 31 年 2 月 18 日～平成 31 年 2 月 22 日		
実習指導者	沢口菜花様	指導教員	小野英一

### 1. 実習企業・機関の概要

- ・市長一副市長一商工観光部一観光課一企画管理係、観光物産係
- ・トップダウン方式
- ・総合計画第 1 期中期プラン（平成 26 年度から平成 28 年度）

4 つの重点戦略

人口減少対策

市街地の再生

交流人口の拡大

防災力の強化

・明治 22 年（1889 年）の町村制施行、昭和 29 年（1954 年）前後の町村合併などを経て、花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が誕生し、それぞれ特徴を生かしながら発展を続け、平成の大合併において、平成 18 年 1 月 1 日、同 1 市 3 町による新設合併。

### 2. 実習プログラム

2 月 18 日(月)	オリエンテーション、資料作成事務
2 月 19 日(火)	コミュニティ研修会（準備）、コミュニティ研修会、区長研修会
2 月 20 日(水)	地域おこし協力隊の活動について
2 月 21 日(木)	花巻市博物館について
2 月 22 日(金)	こどもセンターの活動について、インターンシップの振り返りまとめ

### 3. 学び・気づき

(特に実習計画書で挙げたテーマに関連づけて)

今回のインターンシップのテーマは市役所職員として市民と接する際の心構えや社会人としての行動力を身につけるといったものだった。実習では仕事での工夫や体験してみたいこと以外にも多くの経験を積み、得ることが多くあった。

1日目の実習では花巻市役所の概要や資料作成事務などを行った。1日目は緊張して臨んでいたが、Aさんが丁寧に教えて下さり、知りたいことを質問して聞くことができた。窓口業務では、市民の方が迷わないための総合案内やワンストップサービスという、場所がどこでも手続きが可能という市民に配慮された仕組みを実施していることを学んだ。また、市役所の仕事という窓口業務をイメージしていたが、実際にはそれ以外の課が多く、市民にではなく企業や県に対して行う業務が大半であることを知った。資料作成事務において、HPに掲載するための起案用紙等の整理を行った。市役所では一つの内容を掲載するために起案用紙と報告用紙を提出・決済しなければならず、細かな作業を積み重ねていくことが重要だと分かった。

2日目の実習では主にコミュニティ研修会を体験した。コミュニティ研修会は市内の職員やまちづくりを行う組織の職員の連携や改善を目的とし、講座や情報共有をするものだ。現在の組織やイベントの状況を分析し、新しい政策やイベントを企画していることが分かった。これからはトップダウンではなく横のつながりがじゅうようだと学んだ。

3日目では定住促進課についてお話を聞いた。県外からの定住者の増加を目的にしており、素育て世帯や空き家、就業者を対象とした住宅支援制度を行っていることを知った。また、この課では町おこし協力隊が活動していることを知った。町おこし協力隊とは一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PRや農林水産業への従事などの地域協力活動を行うものだ。定住促進課と受入部署が協力隊の支援をし、地域での活動を行いやすくする体制があることが分かった。実際に町おこし協力隊の活動を見学すると、住民の方々と積極的に話しており、コミュニケーション能力が重要だと気付いた。第6次産業についての話では、市では生産者が加工、販売する際に基準や補助金などを設けサポートしていることが分かった。また、市役所でも一般の企業と同様に市場の分析をして、ブランド化などに取り組む必要があると知った。

4日目は花巻博物館について学んだ。花巻博物館は空調設備がとても充実していることが分かった。気温や湿度を保存する物品によって変え、適切な保存をするために工夫されていることを知った。また、火気を館内に置かないことや窒素ガスによる消火などに対策していることを学んだ。自分の育った地域の歴史や文化がアイデンティティや性質を決定づける要因だと思うので、博物館の存在は地域にとって欠かせないものだと考えた。

5日目はこどもセンターに行き、子供と触れ合いをした。近年、核家族化や近隣住民との関係の希薄化により、協力しての子育てができにくい状況になっている。こどもセンターは子育てを支援する場として設置されていることを知った。

今回の実習を通して、多岐に渡る仕事があると実感した。それぞれ、税金を市民の福祉として還元すべく、試行錯誤する心構えが重要になると感じた。

#### 4. 今後に向けた抱負

(考えさせられたこと、とまどった場面などをヒントに、実習中に解決できなかった自分自身の課題を整理する)

町おこし協力隊の活動について学ぶ中で、積極性がすごいと感じた。花巻地域を好きな人が地域をPR、盛り上げるべく、新たな事業の立ち上げや住民との協力を通して活動していくというバイタリティーがあると思った。このような力がこれから社会に出たうえで活躍するために必要なのではと考えさせられた。